

キャラクター名
佐久良 唯花

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルヒロウ ハヌマーン	ワークス	UGN	エージェントB	カヴァー	高校生
オプション		年齢	16		性別	女
覚醒	憤怒	衝動	破壊		初期侵食率	45%
出自	安定した家庭	経験	大成功		邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	25
感覚	4	1	2			7	(非装備時)	25
精神	2	0	0			2	戦闘移動	30
社会	1	0	0			1	全力移動	60

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志		1	調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
マイナー: 抜刀		0				シャインブレードがカガからオートで聖剣を装備、光をまわらせて強化 攻撃力37 G7 射程2
Xジェン: 光刃一閃	白兵	7r+15				コンセ、光の舞踏、一閃、居合、(一陣の風) 全力移動して白兵攻撃 攻撃力47 達成値+10 射程9
リアクション: 切り払い	白兵	12r+5				切り払い、リフレックス、(残像)、光の舞踏 白兵でドッジ、R中移動していた場合ダメージ+5個、射程5
100		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
聖剣の王者	
思い出の一品	
コネ: UGN幹部	
ウェポンケース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者	P	N		
母親	P 幸福感	N 不安		
アルフレッド・J・コードウエル	P 懐旧	N 恐怖		
沙月美羽	P 友情	N 嫉妬		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
先手必勝	3	基4	常時		自身	自動		
効果:	行動値+Lv×3							
一陣の風	5	基4	常時		自身	自動		
効果:	移動した後の攻撃+Lv×2							
残像	3	基4	常時		自身	自動		
効果:	移動したR中ドッジダメージ+Lv+2個							
シャインブレード	10	2	マイナー					
効果:	武器の攻撃力+Lv+2							
コンセ	3	2	Xジェン					
効果:	XジェンのクリーLv							
光の舞踏	1	2	Xジェン/リアクション			対決		
効果:	組み合わせた判定を感覚で行う							
一閃	1	2	Xジェン			対決		
効果:	全力移動して白兵攻撃							
居合	5	3	Xジェン/リアクション			対決		
効果:	達成値+Lv×2、R一回							
マスヴィジョン	3	4	Xジェン			対決	100	
効果:	攻撃+Lv×5 シナリオ3回							
切り払い	1	1	リアクション	至近	自身	対決		
効果:	白兵でドッジ							
リフレックス	3	2	リアクション			対決		
効果:	リアクションのクリーLv							
猟犬の鼻	★							
効果:	嗅覚と視覚を直結し細かい粒子などを見抜けることができる							
軽功	★							
効果:	水面や壁面などどこでも走り抜けることができる							

読み(さくら ゆいか)
ごく普通の一般家庭に生まれた彼女は小さい頃からものごとから何か「感じる」力が強かった。勉強は並みだったが、運動は感覚だけではあったが得意で、とくに剣道では中学1年の頃に全国優勝を果たすほどだった。大会を制してすぐのころFHのテロに巻き込まれ、そこでコードウエル博士に遭遇。レネグイドウィルスに感染させられ、その場でオーヴァードとして覚醒し暴走。彼女が覚醒した瞬間に彼女の手には聖剣(研究が進んでいないので推測、名前もわかっていない)が握られていた。結果としてはその暴走によりFHは撤退、彼女はUGNに保護された。力の使い方はうまいものの不安定だった彼女にはエージェントになってすぐにサポートするための相棒として天城和人が常に付いていた。2年前その天城和人が単独任務の末、疾走。当時はショックを受けたが、時間と共に徐々に平常に戻っていった。現在は新しい相棒とともに任務をこなす毎日。そんなある日、FHがN市の遊園地でウィルステロを起こした。現場に駆け付けた麗奈は、ある人物を目にする。失踪したはずの天城和人の姿を。
佐久良 唯花について
○良くも悪くもよいこちゃん、勧善懲悪の物語が好きで現実でもそれが一番だと信じている。
○運動は感覚だけ、体力はない
○性善説は割と正しいと思っている
(「What am I to you」)の事件解決後、元相棒の天城和人を自らの手で「人」として「送る」ことになった彼女は、その事件を起こし数々の民間人と元相棒を死に追いやった「あの女」とその大元の原因である「FH」をさらに嫌悪した。衝動に飲み込まれジャーム化しなかったのはひとえに周りのUGNの仲間との信頼関係と、少し前から新しい相棒として行動を共にしていた「射撃津 総路」の優しさ故だろう。
「あの女」は事件後N市支部で保護観察となった。彼女は協力者である「鳴瀬 紫音」との関係のこともあるし、仲のいい支部長である「沙月美羽」の決定というところもあり納得はした。が、「なぜすぐに罪をつくわせないのか。こんな事件を起こしてにおいて処分しないのか」と心の奥底で無意識にそう思っていた。自分も暴走からの保護をされた身として今まで暴走者等の保護に何も言ってきたことが、ここまでの被害を出し、彼女から「元相棒」を奪った「あの女」をどのような罪の償わせ方をしても許せそうにはなかった。結果、彼女のなかでN市支部の方針に疑念がわき始めることとなった。この疑念はまだ心の奥底で鳴りを潜めているが、今後どうなっていくのだろうか。